みやこ
京安全通信 ～安全な学校生活を目指して～
安心安全
令和 8年 3月
其の六「東日本大震災」をふりかえる
～3・11 あの日から15年・・・～
京都市教育委員会事務局 体育健康教育室
京都市立中学校教育研究会 安全教育部会

2011年3月11日 午後2時46分

日本列島は国内観測史上最大規模の猛烈な揺れに見舞われました。

東北地方の太平洋沿岸を襲った巨大津波、そして東京電力福島第１原発事故という未曽有の複合災害は、約**15900人**もの尊い命を奪い、今なお **2500人以上**の行方が分かっていません。当たり前の暮らしや営みが失われたあの日を、私たちは決して忘れません。（※ 数字は 2026年2月1日時点）

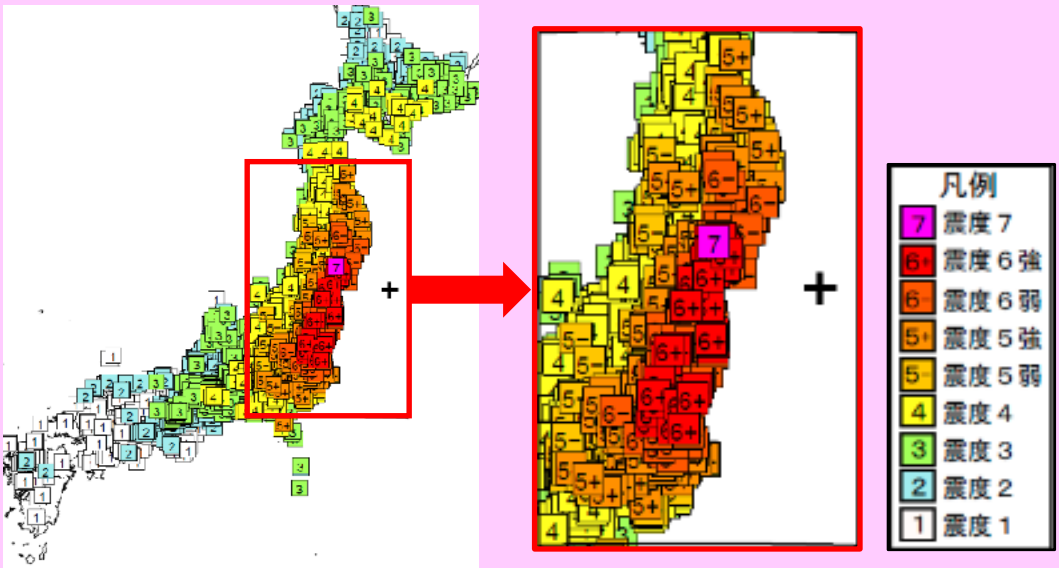
「東日本大震災の概要①」

「マグニチュード9.0」

東日本大震災は、2011年3月 11 日 14 時 46 分頃に発生。三陸沖の宮城県牡鹿半島の東南東 130km 付近で、深さ約 24km を震源とする地震でした。マグニチュード（M）は、1952年のカムチャッカ地震と同じ 9.0。これは、**日本国内観測史上最大規模**、アメリカ地質調査所（USGS）の情報によれば1900年以降、**世界でも4番目の規模の地震**でした。

「最大震度 7 続く余震・・・」

この地震による震度は、宮城県北部の栗原市で**最大震度7**が観測された他、宮城県、福島県、茨城県、栃木県などでは**震度6強**を観測。北海道から九州地方にかけて、震度6弱から震度1の揺れが観測されました。 その後も強い揺れを伴う余震が多数観測されています。気象庁によると、4月7日に宮城県沖を震源として発生した震度6強の余震をはじめ、5月 31 日までに発生した余震は、最大震度6強が 2 回、最大震度6弱が 2 回、最大震度5強が6回、最大震度5弱が 23 回、最大震度4が135回観測されました。



※ 参考：内閣府「防災情報のページ 特集 東日本大震災」

「東日本大震災の概要②」

「未曽有の大津波」

今回の大震災では、岩手、宮城、福島県を中心とした太平洋沿岸部を巨大な津波が襲いました。

各地を襲った津波の高さは、福島県相馬では 9.3m 以上、岩手県宮古で 8.5m 以上、大船渡で8.0m 以上、宮城県石巻市鮎川で 7.6m 以上などが観測（気象庁検潮所）されたほか、宮城県女川漁港で 14.8m の津波痕跡も確認（港湾空港技術研究所）されています。また、遡上高（陸地の斜面を駆け上がった津波の高さ）では、全国津波合同調査グループによると、**国内観測史上最大となる 40.5m** が観測されました。

「大量の帰宅困難者、液状化現象」

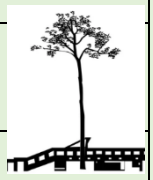
震度5強が観測された首都圏では、交通機関が不通となったため、大量の帰宅困難者が発生する事態となりました。徒歩で帰宅を試みる人々で歩道は大混雑。また、帰宅できなかった多くの人々が勤務先や駅周辺あるいは、都が開設した一時収容施設等で一夜を明かしました。関東では、茨城、千葉、東京、埼玉、神奈川の広い範囲で液状化現象が発生しました。重いマンホールが持ち上がるほどの砂の噴出や、家屋、電信柱などの傾斜や沈下、また、水道、電気、ガスといったライフラインが一時ストップする被害が生じました。

年表でたどる東日本大震災

※ 参考：内閣府「防災情報のページ 特集 東日本大震災」

「東日本大震災発生から15年のあしあと」

年	主なできごと等
2011年	3/9 宮城県北で震度5弱の地震発生 3/11 午後2時46分 東日本大震災発生
2012年	2/10 復興庁が発足 3/31 岩手、宮城、福島3県のプレハブ住宅入居者ピーク（11 万 6565 人） 5/ 5 国内の全原発が停止
2013年	7/10 岩手県陸前高田市の「奇跡の一本松」復元 11/3 プロ野球 東北楽天が初の日本一
2014年	2/15 ソチ冬季五輪フィギュアスケート男子で 羽生結弦選手（仙台市出身）が金メダル
2015年	3/21 JR 石巻線が全線再開 宮城県女川町でまちびらき
2016年	4/14･4/16 熊本県で震度7の地震が2度発生 死者275名 11/22 福島県沖で M7.4の地震 仙台港で1.4メートルの津波を観測
2017年	3/ 3 南三陸志津川さんさん商店街（宮城県南三陸町）が新オープン 5/30 復興庁、全国で震災避難者9万6544人と発表（10万人下回る）
2018年	2/17 平昌冬季五輪フィギュアスケート男子で 羽生選手が2大会連続の金メダル
2019年	1/19 岩手県大槌町旧役場庁舎の本体解体始まる
2020年	3/14 JR 常盤線が全線再開 4/28 宮城県内のプレハブ仮設住宅入居者がゼロに
2021年	2/13 宮城、福島で震度6強を観測 福島市で死者1人 3/11 東日本大震災から10年 3/25 1年延期された東京五輪の聖火リレーが福島県内から出発
2022年	5/11 宮城県が新･津波浸水想定を発表
2023年	1/31 仙台市の震災遺構「荒浜小」がリニューアル 8/24 福島第1原発の処理水海洋放出開始
2024年	1/1 石川県能登半島で最大震度7の地震発生 能登地方に大津波警報



※ 参考：河北新報社 HP「東日本大震災 特設サイト」